

【取組内容】 オンラインを活用した山口県立美術館学芸員による山口県ゆかりの「雪舟」作品の鑑賞授業

山口県立美術館の学芸員を招き、5・6年生が図画工作科の鑑賞の授業を行った。授業では、持参していただいた雪舟の水墨画(レプリカ)を題材に、雪舟の作品に対する児童の感想をデジタルツールを使って集計した。大型画面に映し出すことで自分とは違う作品の印象を「新たな発見」の共有を皮切りに、雪舟の技法のすばらしさやそれを支える「道具」などの説明を受けた。

その後、山口県立美術館と大道小学校をオンラインで結び、美術館の雰囲気味わいながら、16メートルにわたる長大な画面に移り変わる四季の景色を描いた雪舟の大作「四季山水図巻」の実物大(レプリカ)の紹介などを受けた。授業後、雪舟の作品のすばらしさや技法を間近に感じるために、「『実物=本物』を観たい」など、授業前より関心や意欲が高まった。

